

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

甘楽町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県甘楽郡甘楽町

3 地域再生計画の区域

群馬県甘楽郡甘楽町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は2000年の14,660人をピークに減少しており、13,200人（2015年国勢調査結果）、2020年には13,095人（住民基本台帳）まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には総人口が9,854人（2015年比で75%）となる見込みである。年齢3区分別人口構成の推移を見ると、老年人口（65歳以上）が1980年1,672人（12%）→2015年4,078人（30.9%）と増加する一方で、働く世代である生産年齢人口（15～64歳）は1980年9,059人（65%）→2015年7,630人（57.8%）、年少人口（0～14歳）は1980年3,206人（23%）→2015年1,491人（11.3%）と減少している。

自然動態では、2000年を境に少子化による出生数の減少が顕著になり、高齢化とともに死亡数は増加を続け、2019年は138人の自然減となっている。合計特殊出生率は、直近では2016年に1ポイントを下回る結果となったものの、その後は上昇し、2018年は1.40となっている。社会動態については、総体的に転出が転入を上回り社会減の状況ではあるが、2015年前後では転出数と転入数の増減が拮抗し、2018年及び2019年では転入が転出を上回って推移しており、2019年は77人の社会増となっている。近年は子育て世代とその子ども世代の転入が増加傾向にあるが、2019年は子育て世代（30～40代）の転入者は141人となっている。また若者世代（15～20代）では、進学、就職、結婚を要因に転出者171人と、転入者を上回っている。

少子化のみならず、こうした社会動態が町全体の高齢化を一層進めているとともに、若い世代の転出が顕著である。このような状態が続くと、地域の担い手の減少や地域産業の衰退、税収の減少、社会保障費の増加を引き起こし、結果として地域活動に支障をきたすことが懸念される。

これらの課題に対応するため、本計画において、次の基本目標を掲げ、若い世代の就労の場の提供、結婚、出産、子育てを支援し、移住・定住を促進するとともに安心して暮らせる環境を実現する。

- 基本目標 1 元気とにぎわいを生む地域戦略
- 基本目標 2 住みたい、住み続けたい地域戦略
- 基本目標 3 子育て支援の地域戦略
- 基本目標 4 安全安心と個性あふれる地域戦略

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	町内の従業者数	4,483人	4,500人	基本目標 1
	年間日帰り客数	926,610人	930,000人	
イ	年間転入者数	462人	480人	基本目標 2
	県外からの移住者数	6人	10人	
ウ	年少人口	1,369人	1,400人	基本目標 3
	合計特殊出生率	1.40	1.47	
エ	防犯カメラの設置個数	31ヶ所	50ヶ所	基本目標 4
	防災行政無線個別受信機設置世帯数	0世帯	1,000世帯	
	ホームページ年間閲覧件数	274,971件	300,000件	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2及び5-3のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

甘楽町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 元気とにぎわいを生む事業

イ 住みたい、住み続けたい事業

ウ 子育て支援事業

エ 安全安心と個性あふれる事業

② 事業の内容

ア 元気とにぎわいを生む事業

自然・文化・歴史・土地・人などの地域資源の発掘と既存資源に磨きをかけ、農林業、商工業、観光の連携強化を図り、地域の特性に応じた稼ぐ地域の実現と安心して働ける環境の実現を目指す事業。

【具体的な事業】

- ・企業誘致推進事業
- ・若年者雇用支援事業
- ・観光キャンペーン事業 等

イ 住みたい、住み続けたい事業

住環境整備により定住人口の減少に歯止めをかけるとともに、宅地開発や空き家を有効活用し、UIJターンの促進を図り、定住者の増加と地方へのつながりを構築し、関係人口の創出・拡大に取り組む事業。

【具体的な事業】

- ・空き家対策事業
- ・住宅団地整備事業
- ・奨学金返還支援助成事業 等

ウ 子育て支援事業

結婚・出産・子育てしやすい環境を整備し、子育てと仕事の両立の難

しさを軽減することにより「子どもを産むなら甘楽町」「子どもを育てるなら甘楽町」と、若い世代が結婚・出産・子育てに希望が持てるまちの実現を図る事業

【具体的な事業】

- ・ 認定こども園整備事業
- ・ 不妊・不育症治療費助成事業
- ・ かんら子育て支援センター運営事業 等

エ 安全安心と個性あふれる事業

危機対応力の向上と自助・共助・公助の連携を強化し、町民が安心して満足度の高い暮らしが送れる地域運営を進め、地域資源を活かし夢や希望を持って暮らすことができるまちづくりを目指します。

また、近年多発する自然災害等に対応した防災体制や新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、安全安心な生活の確保に努める事業。

【具体的な事業】

- ・ 防災力向上推進事業
- ・ 幼稚園跡地活用事業
- ・ 介護予防普及啓発事業 等

* なお、詳細は第2期甘楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

24,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度6月に外部有識者等で構成する「キラッとかんら安心のまち創生会議」において検証し、その結果を踏まえ戦略（施策）の見直しを行う。検証後は速やかに甘楽町公式ホームページにおいて公開する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで